II、

一、政治的経済的力のもとにおかれた自然発生的ストライキと産業的或は地域的ゼネスト闘争の諸様相を採り上げねばならぬ。
即ち一工場における自然発生的ストライキは同種産業或は同一地方における労働者の潜在的不平不満を呼び起し、その闘争意識を培養し刺激する従ってゼネスト闘争の重要なる条件をなすものである。
我々はこの諸様を見逃がしてはならぬ。しかも最も重要なものは同種産業或は同一地方各工場中、未だ闘争発生の条件の充分に熟さざる工場特に闘争意識の遅れたる労働者をめざして闘争に起たしめるかである。
二、従って一工場のストライキの事実を一般労働者の潜在的不平不満を結びつけ之れを煽動すること、依ってストライキの労働者に対する特別のための応援をなさしめねばならぬ。しかして更にも指摘したる如くこの応援はゼネストへの発展の重要なる初歩的条件をなすものであってそれを直ちにストライキの力を強めると共に労働者の連帯的観念を植付け如此に応援に起たしめた労働者の自身の不平不満をより鮮明にしその闘争意識を培養するものである。
その応援方法については一般的な実行委員会の必要さはいうまでもないが特に各職場から当該係員を選出し争議委員会を訪問激励せしめ更に帰っては闘争の生々しい事実を目撃し闘争意識を蓄し即ち各の代表の報告はなるべく細やかなものもよいから工場内において開かせること、ストライキに関する経済部、手続運動等に就いて行わせしめることなども必要なのである。その応援のために構成された世話役は事実上の職場代表者会となって後において重要な役割を持つ又これを果すことが出来るのである。
之を要するにこの種の応援の重要性は単に実際に集めて送るということに止らず応援の行動の中に闘争の情勢に労働者を捲き込むということにある。
三、かくして闘争意識の高揚された之れこの経済ストライキ応援と自らの不平不満の爆発闘争とを統合しそれを煽動することによって個々の労働者の闘

財團法人協調會